

肯定的評価を表す「～のがいい」と類義表現 「～方がいい」「～といい」との使い分け

渡 邊 ゆかり

Differences Between “~no-ga ii” Which Expresses a
Positive Evaluation of Something and Other Similar
Meaning Expressions “~hou-ga ii” and “~to ii”

WATANABE Yukari

要 旨

「～のがいい」は、「～方がいい」「～といい」と同様、「～」の部分の命題に対する肯定的評価を表す。また、いずれも聞き手に対して助言を行う際に使用できる。そのため日本語学習者の中には「～方がいい」や「～といい」の方が望ましい文脈において「～のがいい」を用いてしまう者もいる。しかしながら、「～のがいい」は、必ずしも「～方がいい」「～といい」の代用として使えるわけではない。そこで、本稿では、「～のがいい」と類義表現「～方がいい」「～といい」との使い分けについて認知言語学的観点を取り入れながら考察を行った。

キーワード：～のがいい、～方がいい、～といい、認知言語学的観点、使い分け

1. は じ め に

「～のがいい」は、「～方がいい」「～といい」と同様、「～」の部分の命題に対する肯定的評価を表す。また、いずれも聞き手に対して助言を行う際に使用できる。そのため日本語学習者の中には「～方がいい」や「～といい」の方が望ましい文脈において「～のがいい」を用いる者もいる。しかしながら、次の(1)(2)が示すように、「～のがいい」は、必ずしも「～方がいい」「～といい」の代用として使えるわけではない。

- (1) もちろん、私は中国人として、外来語が意を翻訳して、漢字を{*作るのが/作ッタ方方}いいなと思っているが、欧米の方々はそうと思わないでしょう。(学習者作文コーパス「なたね」作文109_a)

(2) いちばんいいのはその言語に接する興味を持つことです。これは興味を上昇し学習の繰り返しだということでも望ましいです。それと自分の学習計画を「?」つくるのが「ツクルト」いいです。(「日本語学習者作文コーパス」KG020)

しかし、稿者の管見の限りでは「～のがいい」よりも「～方がいい」もしくは「～といい」の方が望ましい場合とその理由について具体的に考察した先行研究は存在しない。

そこで、本稿では、「～のがいい」と類義表現「～方がいい」「～といい」との使い分けについて認知言語学的観点から考察を行う。なお、『日本国語大辞典 第二版』13巻によれば、「いい」は「よい」「良い」のくだけた形に当たるが、本稿では、このような文体的差異は問題にせず「よい」「良い」も「いい」と同等のものとして扱うこととする¹。

2. 本稿で扱う「～のがいい」「～方がいい」「～といい」の統語構造

ここでは、本稿で扱う「～のがいい」「～方がいい」「～といい」の統語構造を示す。

まず、「～のがいい」の統語構造は、次の①のように示すことができる。なお、「:」の右側は、「:」の左側の形式と対応する統語的意味を表す。

①「～のがいい」の統語構造

[補文ーの]ーが いい

いい：補文が表す動作命題に対する評価主体の肯定的評価

補文：「いい」の評価対象となる動作命題

の：準体助詞

次に、「～方がいい」の統語構造は、次の②のように示すことができる。

②「～方がいい」の統語構造

[連体修飾節ー方]ーが いい

いい：連体修飾節が表す動作命題に対する評価主体の肯定的評価

連体修飾節：「いい」の評価対象となる動作命題

方(ほう)：形式名詞

最後に、「～といい」の統語構造は、次の③のように示すことができる。

③「～といい」の統語構造

条件節ーと いい

いい：条件節が表す動作命題に対する評価主体の肯定的評価

条件節：「いい」の評価対象となる動作命題

と：接続助詞

上述のとおり、本稿で扱う「～のがいい」「～方がいい」「～といい」については、「～」の部分が動作命題を表すものに限定する²。「～のがいい」「～方がいい」「～といい」は、いずれも述語「いい」が「～」の命題に対する肯定的評価を表しているが、①②③に示したとおり、「～」の部分の統語的意味はそれぞれ異なる。まず、「～のがいい」の「～」は、準体助詞「の」を伴い、「いい」の必須成分に当たるガ格を構成する。次に、「～方がいい」の「～」は、形式名詞「方」を伴い、同じく「いい」の必須成分に当たる「ガ格」を構成する。最後に「～といい」の「～」は、接続助詞「と」を伴い、主節「いい」に従属する条件節を構成する。

また、「～のがいい」「～方がいい」「～といい」のいずれにおいても平叙文においては、話し手あるいは語り手の評価を表すが、疑問文においては聞き手あるいは読み手に評価を委ねている。

以上、ここでは、「～のがいい」「～方がいい」「～といい」の統語構造について見てきた。次節では、これらの表現が日本語学習者向けの総合日本語テキストの中でどのように取り上げられているかについて見ていく。

3. 総合日本語テキストにおける「～のがいい」「～方がいい」「～といい」

3.1 「～のがいい」

「～のがいい」は、管見の限り、国内で出版されている総合日本語テキストにおいて一つの文型として扱われてはいない。しかし、東京外国語大学編著の『初級日本語上』『初級日本語下』『中級日本語上』『中級日本語下』のシリーズにおいては、「～のがいい」の上位文型「～のは+形容詞述語」が『初級日本語下』の21課で登場する。

また、スリーエーネットワーク編著の『みんなの日本語初級Ⅰ第2版』『みんなの日本語初級Ⅱ第2版』『みんなの日本語中級Ⅰ』『みんなの日本語中級Ⅱ』のシリーズでは、『みんなの日本語Ⅱ第2版』の38課で登場する。

3.2 「～方がいい」

東京外国語大学編著の『初級日本語上』『初級日本語下』『中級日本語上』『中級日本語下』のシリーズにおいては、『初級日本語下』の18課で「～方がいい」が登場する。

また、スリーエーネットワーク編著の『みんなの日本語初級Ⅰ第2版』『みんなの日本語初級Ⅱ第2版』『みんなの日本語中級Ⅰ』『みんなの日本語中級Ⅱ』のシリーズにおいては、『みんなの日本語初級Ⅱ第2版』の32課で「～方がいい」が登場する。

いずれのテキストにおいても、「～方がいい」は、助言を行う表現として扱われている。

3.3 「～といい」

「～といい」は、管見の限り、国内で出版されている総合日本語テキストにおいて一つの文型として扱われてはいない。しかし、東京外国語大学編著の『初級日本語上』『初級日本語下』『中級日本語上』『中級日本語下』のシリーズにおいては、これと類似の機能を持つ「～たらいい」「～ばいい」が『中級日本語下』の14課で登場する。

また、スリーエーネットワーク編著の『みんなの日本語初級Ⅰ第2版』『みんなの日本語初級Ⅱ第2版』『みんなの日本語中級Ⅰ』『みんなの日本語中級Ⅱ』のシリーズにおいては、「～たらいい」の疑問形「～たらいいですか」が『みんなの日本語初級Ⅱ第2版』の26課で登場する。

さらに、同じくスリーエーネットワーク編著の『みんなの日本語初級Ⅰ第2版』『みんなの日本語初級Ⅱ第2版』『みんなの日本語中級Ⅰ』『みんなの日本語中級Ⅱ』のシリーズにおいては、「～ばいい」の疑問形「疑問詞～ばいいですか」が『みんなの日本語初級Ⅱ第2版』の35課で登場する。

このように、東京外国語大学編著のテキスト、スリーエーネットワーク編著のテキストのいずれにおいても、「～といい」の類似表現「～たらいい」「～ばいい」は登場するものの「～といい」は登場していない。また、東京外国語大学編著のテキスト、スリーエーネットワーク編著のテキストのいずれにおいても、「～たらいい」「～ばいい」は、助言を求めたり、助言を行ったりするときの表現とされている。加えて、東京外国語大学編著の『中級日本語下』では、「～たらいい」「～ばいい」について、「『心配は要らない、簡単なことだ』という気持ちで助言する場合に使う (p. 21)」としている。

以上、ここでは、「～のがいい」「～方がいい」「～といい」が日本語学習者向けの総合日本語テキストの中でどのように取り上げられているかについて見てきた。次節ではこれらの表現が指導参考書においてどのように取り上げられているかについて見ていく。

4. 指導参考書における「～のがいい」「～方がいい」「～といい」

4.1 「～のがいい」

3節1項で見たように「～のがいい」は、総合日本語テキストの中では、一つの文型として扱われてはいない。これは、「～のがいい」が「～のは+形容詞述語」という話者の評価を表す文型の一類型に当たることによる。そのため、管見の限り、指導参考書においても「～のがいい」のみに焦点を当てた記述は存在しない。

4.2 「～方がいい」

『教師と学習者のための日本語文型辞典』（1998）では、「～方がいい」について「よいと思われることを述べて、聞き手に対して忠告やアドバイスをする時に使う（p. 522）」と記されている。

一方、『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』（2000）では、「～方がいい」は、聞き手の行為について用いると勧めや忠告の意味になるが、自分の行為に用いる場合も、一般論として述べる場合もあるとしている（p. 157）。次の（3）は勧めや忠告の例、（4）は自分の行為に用いる例、（5）は一般論として述べる例に相当する。

- （3）（出かける人に）今日は傘を持っていったほうがいいよ。（初級を教える人のための日本語文法ハンドブック p. 157の（1））
- （4）（空を見ながら）今日は傘を持っていったほうがいいかなあ。（初級を教える人のための日本語文法ハンドブック p. 157の（2））
- （5）寝る前には食事をしないほうがいい。（初級を教える人のための日本語文法ハンドブック p. 157の（3））

また、「～方がいい」が動詞の辞書形に接続した場合とタ形に接続した場合の相違について、傾向としては、前者は一般論を述べるときによく用いられ、具体的な場面では後者の方が圧倒的に多く用いられるとしている（p. 158）。

さらに、『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』（2001）では、「～方がいい」と「～といい」「～ばいい」「～たらいい」との違いについて、「『ほうがいい』がその行為をしないと悪い結果が生じるという含みを持ちやすいのに対し、これらの表現はそのような含みは持（p. 229）」たないと記している³。

4.3 「～といい」

『教師と学習者のための日本語文型辞典』（1998）では、「～といい」について以下のように記述している。

動詞の辞書形を受け、人に対してその行為を行うように勧める意味を表す。（中略）類義的表現として「たらいい」「ばいい」があるが、「といい」は「一般的にそうするのが適当だ」という意味の勧めに使う。どうすべきかをたずねる疑問表現では「といい」は使えず、「たらいい」「ばいい」を使う。その答えには「たらいい／ばいい」だけでなく、「といい」も使うことができる。この場合「たらいい／ばいい」が特定の結果を得るために「それで必要十分だ」という意味を表すのに対し、「といい」は「それが一般的に適切だ」という意味を表す。（p. 294）

なお、『教師と学習者のための日本語文型辞典』では、「どうすべきかをたずねる疑問表現では『といい』は使えず、(p. 294)」とあるが、現代日本語書き言葉均衡コーパスの中には、次の(6)(7)のように、どうすべきかを尋ねる疑問表現で「といい」を使用する例も存在した(これ以降の用例中の下線は稿者による)。

(6) DHCのサプリメントで大体の栄養をとろうと思います。どれとどれを飲むといいですか? (BCCWJ, OC09_01396, Yahoo! 知恵袋, 2005)

(7) 忍耐力をつけるには何を根拠に忍耐力をつけるといいですか? (BCCWJ, OC12_00884, Yahoo! 知恵袋, 2005)

また、『日本語類義表現使い分け辞典』(2007)では、「～といい」について「聞き手に対する働きかけではなく、話し手の『Aがいい』という評価を表しているが、評価が助言や勧めの機能を果たしているので、どちらの場合にも使うことができる (p. 849)」としている。

以上、ここでは、「～のがいい」「～方がいい」「～といい」が指導参考書においてどのように取り上げられているかを見てきた。次節では、総合日本語テキスト、指導参考書の記述における問題点を整理した後、「～のがいい」と「～方がいい」「～といい」の使い分けについて考察する。

5. 「～のがいい」と「～方がいい」「～といい」の使い分け

5.1 総合日本語テキスト、指導参考書の記述における問題点

次の表1は、先の4節で示した、総合日本語テキスト、指導参考書の記述内容をまとめたものである。なお、本稿では、以下、話し手、書き手といった言語表現の産出者を表すのに発信者という用語を用い、聞き手、読み手といった言語表現の受容者を表すのに受信者という用語を用いることとする。

表1 4節で取り上げた日本語のテキスト、参考書の記述内容

		～のがいい	～方がいい	～といい
評価対象	①発信者の行為	記述なし	○	×
	②受信者の行為	記述なし	○	○
	③一般論としての不特定多数の行為	記述なし	○	○
機能	④助言や勧め	記述なし	○	○
	⑤忠告(その行為をしないと悪い結果が生じるという含み)	記述なし	○	×
その他	⑥どうすべきか尋ねる疑問形に使える	記述なし	記述なし	×

表1より、次の三つの問題点が浮かび上がる。

- 「～のがいい」については、①～⑥に関する記載がなく該当の有無が不明確である。
- 「～方がいい」については、⑥に関する記載がなく該当の有無が不明確である。
- 『教師と学習者のための日本語文型辞典』では、「～といい」は、どうすべきか尋ねる疑問形で使えないとされていたが、(6) (7) のような例が存在する。

以下、表1の①～⑥の観点及びこれらの問題点に留意しながら、「～のがいい」の意味特性について分析した後、「～のがいい」と「～方がいい」との使い分け、「～のがいい」と「～といい」との使い分けについて順に考察する。

5.2 「～のがいい」の意味特性

「～のがいい」の統語構造は、2節の①で示したとおりである。また、補文命題は、特定の時制を伴う個別のことから、特定の時制の枠にとらわれない恒常のことからのいずれも可能である。さらに、特定の時制を伴う個別のことからを表す補文には、「いい」という評価時に未実現のことからだけでなく、既実現のことからも取りうる。以下、具体例を見ながらこのことを確認していく。

まず、次の(8) (9)の補文は、特定の時制を伴う個別のことからを表している。

- (8) 榎崎も、2人だけを想像していたのだろうか？それは、願ってもない幸運、って、絶対駄目に決まってる。こんなに早く、ラッキーな関係になったら、きっと悔いが残る。ここは大人しく、石川たちを巻き込んでしまうのがいいだろう。(BCCWJ, PB59_00014, 菅笠みのり著『君、私の頭上で輝けり』文芸社, 2005)
- (9) 白山自然保護センターの方が、怠け歩きの私に合わせてくださったのがよかったのだが。(BCCWJ, LBf9_00072, 高田宏著『森が消えるとき』徳間書店, 1991)

このうち(8)は、「いい」という評価時に未実現のことからを表し、(9)は「いい」という評価時に既実現のことからを表している。

一方、次の(10)の補文は、中学生以上の子どもに対する扱い方を表しており、特定の時制の枠にはとらわれておらず、恒常のことからを表している。

- (10) 大体は自分で読んで分らなければ、大人に聞きます。大人がしっかりしないと子どもに侮られます。それで、中学生以上はほったらかすのがいいと思います。(BCCWJ, OC12_01319, Yahoo!知恵袋, 2005)

以上、ここまでは、「～のがいい」に用いられる補文の特徴を、時制という点に着目しながら述べてきた。次に、「～のがいい」が、本節1項の表1にあげた①～⑥の特性を備えているのかについて見ていく。

はじめに、評価対象と関わる①～③の特性について検討する。

まず、表1の①「発信者の行為を評価対象とすることができるか否か」については、(8)や次の(11)のように発信者の行為を評価対象とすることは可能である。

- (11) 自分の想像が正しいかどうか、マンションの一階に住む大原夫人に訊くのがいいだろう、と蔵前は思った。(BCCWJ, LBr9_00134, 雨宮町子著『私鉄沿線』実業之日本社, 2003)

次に、表1の②「受信者の行為を評価対象とすることができるか否か」については、(10)や次の(12)のように受信者の行為を評価対象とすることも可能である。

- (12) ブロードバンドのメリット、デメリット、初期費用、月額料金などを比べてみたので参考にしてください。(中略) 無駄な出費を抑えるためには、3年は同じものを利用するつもりで選ぶのがいいでしょう。(BCCWJ, PM21_00399, 『レタスクラブ』477号, 2002)

ただし、(10)(12)の補文は、受信者が取るべき行動であると同時に、一般論としての不特定多数が取るべき行為として解釈することも可能である。

したがって、「～がいい」は、表1の③「一般論としての不特定多数の行為を評価対象とすることができるか否か」についても、一般論としての不特定多数の行為を評価対象とすることも可能であるとみなすことができる。

続いて、表1の④⑤の機能について検討する。

まず、表1の④の「助言や勧め」については、(10)(12)のように、補文が受信者の行為あるいは不特定多数の行為として解釈される場合は、受信者に対する「助言や勧め」の機能を持ちうる。

次に、表1の⑤の「忠告」については、補文が受信者の行為あるいは不特定多数の行為として解釈される用例を観察する限りでは、「その行為をしないと悪い結果が生じる」という含みをもった忠告と解釈できるものは存在しなかった。

最後に、表1の⑥の「どうすべきか尋ねる疑問形に使えるか否か」についてであるが、「～がいい」は、次の(13)(14)のように特定の場面においてどう行動すべきかを受信者に尋ねるときに用いることもできる。

- (13) スキーの板を買いだいたいんですけど、何センチぐらいのものを選ぶのがいいんでしょうか。(BCCWJ, OC06_00315, Yahoo 知恵袋, 2005)

- (14) 「美人ですね」などと言われたとき、どう反応するのがいいんでしょうか。(BCCWJ, OC11_00080, Yahoo 知恵袋, 2005)

以上、ここでは「～がいい」の意味特性について取り上げた。ここでの分析を踏まえ、次

の本節3項からは、「～のがいい」と「～方がいい」の使い分け、「～のがいい」と「～といい」の使い分けについて順に考察する。

5.3 「～のがいい」vs. 「～方がいい」

まず、「～のがいい」と「～方がいい」を統語論的観点から比較すると、いずれも2節で見たように、述語「いい」が、評価対象となる命題を主たる構成要素とするガ格を必須成分とする。しかし、「～のがいい」では、評価対象となる命題が準体助詞「の」を伴う補文で示されるのに対し、「～方がいい」では、評価対象となる命題が形式名詞「方」を修飾する連体修飾節で示される。

また、「～のがいい」と「～方がいい」のいずれにおいても、評価対象となる命題の述語は、ル形、タ形のいずれも可能である。しかし、評価対象を表す命題がタ形をとったときのテンス的解釈は、両者で異なる。「～のがいい」の補文の述語がタ形を取るときは、(9)のように「～のがいい」も過去形「～のがよかった」となり、いずれも発信時を軸とする絶対テンスとしての過去を表す。一方、「～方がいい」の連体修飾節の述語がタ形を取るときは、次の(15)のように、このタ形はテンスではなく未来完了の aspekto を表す。

- (15) 「川が増水している。今夜、青年団を集めたほうがいいだろう」(BCCWJ, PB39_00344, 稲葉真弓著『風変りな魚たちへの挽歌』河出書房新社, 2003)

ただし、次の(16)の「～方がよかった」のように「いい」がタ形の場合は、連体修飾節は、反実仮想命題を表す。

- (16) 奥までちびほうきが届かない! あ～やっぱり百円均で長いほうきを買っておいの方がよかったか。(BCCWJ, OY14_37067, Yahoo! ブログ, 2003)

次に、「～のがいい」と「～方がいい」を意味論的観点から比較すると、いずれも評価対象に対する肯定的評価を表している点が共通する。また、発信者の行為に対する評価、受信者の行為に対する評価、不特定多数の行為に対する評価のいずれも可能である点も共通する。

しかし、「～のがいい」が未実現のことがらに対する評価だけでなく、既実現のことがらに対する評価にも用いることができたのに対し、「～方がいい」は、既実現のことがらに対する評価には用いることができない。また、「～方がいい」が(16)のように反実仮想文としても用いることができるのに対し、「～のがいい」は、反実仮想文として用いることはできない。

このほか、「～のがいい」と「～方がいい」とでは、評価者が、評価に際し、何を認知言語学的なベースとしているかという点が異なる。具体的に説明すると、「～のがいい」では、評価者は、評価に際し、評価対象となりうる無数の候補をベースとしており、その中から自身の肯定的評価に値するものを排他的にプロファイルしている。一方、「～方がいい」では、評価者は、

評価に際し、評価対象として比較する二つの候補をベースとしており、二つのうちから自身の肯定的評価に値するものを排他的にプロファイルしている。

それゆえ、三つ以上の候補の中から一つを選択するときに使う「一番」が文中に存在する(17b)では「～方がいい」が不自然となり、反対に、二つの候補の中から一つを選択するときに使う「～より」が文中に存在する(17c)では「～のがいい」が不自然となる。

- (17) a. ストレスを解消したいなら、休みの日に 好きなことをして過ごすのが / 好きなことをして過ごした方が いいと思うよ。
- b. ストレスを解消したいなら、休みの日に 好きなことをして過ごすのが / *好きなことをして過ごした方が 一番いいと思うよ。
- c. ストレスを解消したいなら、休みの日は、家でごろごろするより、*外に出かけるのが / 外に出かけた方が いいと思うよ。

最後に、「～のがいい」と「～方がいい」を語用論的観点から比較すると、いずれも評価対象に対する肯定的評価を行うだけでなく、次の(18)(19)のように間接発話行為として受信者に対する助言を行うことができる。

(18) 【質問者】

ニワトリの頭っていくら位するのでしょうか？ササミより高いのでしょうか？また、どこで購入できるのでしょうか？

【回答者】

肉問屋とか普通の肉屋さんで問い合わせるのがいいかと思います。(BCCWJ, OC09_14340, Yahoo 知恵袋, 2005)

- (19) ここでのおよそ四年間は、慶喜がもっとも忙しくまた時代がもっとも激動した頃だろう。そこらあたりのどさくさぶりは、わたしの書けるところではないので、大河ドラマを見ていただくなり、歴史小説でも読んでもらったほうがいいだろう。(BCCWJ, LBI2_00008, 徳川慶朝著『徳川慶喜家によろこ』集英社, 1997)

(18)の「～のがいい」は、次の(18)'のように「～方がいい」に置き換えることが可能である。

(18)' 【質問者】

ニワトリの頭っていくら位するのでしょうか？ササミより高いのでしょうか？また、どこで購入できるのでしょうか？

【回答者】

肉問屋とか普通の肉屋さんで問い合わせた方がいいかと思います。

また、(19)の「～方がいい」も、次の(19)'のように「～のがいい」に置き換え

ることが可能である。

- (19)' 这里のおよそ四年間は、慶喜がもっとも忙しくまた時代がもっとも激動した頃だろう。そこらあたりのどさくさぶりは、わたしの書けるところではないので、大河ドラマを見ていただくなり、歴史小説でも読んでもらうののがいいだろう。

しかし、助言を行う「～のがいい」「～方がいい」は、どんな場合も置き換え可能であるわけでない。例えば、次の(20)の「～のがいい」は、(20)'のように「～方がいい」に置き換えるとやや不自然となる。

- (20) 【質問者】

タイピングが上手になる良い方法があったら教えて下さいませ。。。。

【回答者】

ゲームでもしながら、覚えるのがいいと思います。。。 (BCCWJ, OC02_07384, Yahoo 知恵袋, 2005)

- (20)' 【質問者】

タイピングが上手になる良い方法があったら教えて下さいませ。。。。

【回答者】

?ゲームでもしながら、覚えた方がいいと思います。。。。

また、反対に、次の(21)の「～方がいい」は、(21)'のように「～のがいい」に置き換えるとかかなり不自然となる。

- (21) 「いいえ。保健室にきてください。すぐそこよ。応急手当てをしたほうがいいわ」
(BCCWJ, LBd9_00172, 田中雅美著『赤い服探偵団』集英社, 1989)

- (21)' 「いいえ。保健室にきてください。すぐそこよ。*応急手当てをするのがいいわ」

このような「～のがいい」と「～方がいい」の置き換えの容認度には、評価者が何を認知言語学的なベースとして評価を行っているかに対する、我々の解釈が影響する。以下このことを先の具体例と照らし合わせながら説明する。

まず、(18)と(18)'について説明すると、いずれも、回答者は、質問者の「ニワトリの頭っていくら位するのでしょうか？ササミより高いのでしょうか？また、どこで購入できるのでしょうか？」という質問に対し、質問者が求めている情報提供は行っていない。その代わりに、回答者は、質問者が質問者自身の目的を果たすために取るべき行動に対する助言を行っている。

この場合、回答者は質問者の取るべき行動を無数の候補の中からプロファイルしたという解釈も可能であるし、回答者は質問者の取るべき行動を「Yahoo！知恵袋で質問する」と「肉問屋とか普通の肉屋さんで問い合わせる」の二つの中からプロファイルしたという解釈も可能である。換言すると、これらの解釈を妨げる要因がコンテキスト中に存在しない。

それゆえ、質問者が取るべき行動について無数の候補をベースとしている (18) のみならず、質問者が取るべき行動について二つの候補をベースとしている (18)' もまた自然と感ずるのである。

ただし、人によっては (18)' の方がやや質問者に対する丁寧さに欠けているように感じられるかもしれない。これは、二者択一的な評価のため「Yahoo! 知恵袋で質問する」という質問者が取った行為に対する否定的な評価がより強くほめかされてしまうことに起因すると考えられる。

(19) と (19)' についても、「～のがいい」「～方がいい」のいずれも自然である理由は、評価者が無数の候補をベースとしているという解釈と二つの候補をベースとしているという解釈のいずれもコンテキスト上、可能であることに起因する。

また、「～のがいい」は自然であるが「～方がいい」がやや不自然な (20) と (20)' について説明すると、質問者は二者択一のクローズドクエスションではなく、オープンクエスションを行っている。すなわち、質問者は、回答者に対し、無数の候補の中から自身がよいと思うものをプロファイルすることを期待している。

それゆえ、我々は、回答者が無数の候補をベースとしてその中から回答者自身の評価に値するものをプロファイルするという、質問者の期待に沿った解釈を優先し、「～のがいい」を用いた (20) の方を自然と感ずるのである。

さらに、「～方がいい」は自然であるが「～のがいい」がかなり不自然な (21) と (21)' について説明すると、けがをした人物への対応の仕方に関する一般知識に基づき、我々は、評価者がけがをした人物が応急処置を受けていない現状を問題視していると解釈する。

それゆえ、我々は、評価者は「応急処置を受けない」と「応急処置を受ける」の二つの候補をベースとしてその中から自身の肯定的評価に値するものとして「応急処置を受ける」ことをプロファイルしている (21) の方を自然と感ずるのである。

1 節であげた日本語学習者の作文の (1) において、「～のがいい」よりも「～方がいい」の方が自然である理由も同様である。我々は、中国語では外来語を漢字語に置き換えるという知識に基づき、中国人である評価者は、外来語を日本語の中に取り入れる手段の候補として「カタカナ語に置き換える」と「漢字語に置き換える」の二つをベースにしていると解釈する。そのため、(1) では、二つの候補をベースとする「～方がいい」の方を自然と感ずるのである。

この他、「～のがいい」「～方がいい」は、いずれも受信者に助言を行うときだけではなく、次の (22a) (22b) のように、受信者に助言を求めるときにも用いることができる。

(22) a. 休みの日は、何をするのがいいですか。

b. 休みの日は、何をした方がいいですか。

また、その際、(22)のようにオープンクエスチョンだけでなく、次の(23)のようなクローズドクエスチョンにも用いることができる。

(23) a. ダイエットをするには、食事制限をするのがいいですか。それとも、有酸素運動をするのがいいですか。

b. ダイエットをするには、食事制限をした方がいいですか。それとも、有酸素運動をした方がいいですか。

(23a) の場合、評価に際し、無数の候補をベースとしていると解釈されるが、(23b) の場合は、評価に際し、「食事制限をする」と「有酸素運動をする」の二つをベースとしていると解釈される。

以上、ここでは、「～のがいい」と「～方がいい」の使い分けを統語論的観点、意味論的観点、語用論的観点に基づいて論じてきた。次の本節4項では、「～のがいい」と「～といい」の使い分けについて考察する。

5.4 「～のがいい」vs. 「～といい」

まず、「～のがいい」と「～といい」を統語論的観点から比較すると、「～のがいい」では、評価対象となる命題が準体助詞「の」を伴い、「いい」の必須成分として現れる。一方、「～といい」では、評価対象となる命題が接続助詞「と」を伴い、主節「いい」に従属する条件節として現れる。

また、「～のがいい」の評価対象となる命題の述語は、ル形、タ形のいずれも可能であったのに対し、「～といい」の評価対象となる命題の述語は、次の(24)のように、ル形のみ可能であり、このル形は「いい」という評価時における未来を表す。

(24) 気になるなら公衆電話からかけてみるといいと思います。(BCCWJ, OC02_08852, Yahoo! 知恵袋, 2005)

ただし、次の(25)の「よかった」のように「いい」がタ形の場合は、条件節は、反実仮想命題を表す。

(25) 質問欄に商品名載せていただけたらよかったのですが。(BCCWJ, OC09_02561, Yahoo! 知恵袋, 2005)

次に、「～のがいい」と「～といい」を意味論的観点から比較すると、いずれも評価対象に対する肯定的評価を表している点は共通する。しかし、「～のがいい」が発信者の行為に対する評価、受信者の行為に対する評価、一般論としての不特定多数の行為に対する評価のいずれも可能であったのに対し、「～といい」は次の(26c)のように発信者が発信者自身の行為を評価するのに用いることはできない。

- (26) a. 私は、休みの日は、家でごろごろするのがいい。
 b. 私は、休みの日は、家でごろごろする方がいい。
 c. *私は、休みの日は、家でごろごろするとよい。

また、「～のがいい」が未実現のことがらに対する評価だけでなく、既実現のことがらに対する評価にも用いることができたのに対し、「～といい」は、既実現のことがらに対する評価には用いることができない。さらに、「～のがいい」は、反実仮想文として用いることができなかったのに対し、「～といい」は、(25)のように反実仮想文としても用いることができる。

このほか、「～のがいい」と「～といい」については評価に際して用いる認知言語学的なベースならびにプロファイルの方法が異なる。

まず、両者の共通点としては、いずれも評価に対し、評価対象となりうる無数の候補をベースとしている点を挙げることができる。しかし、「～といい」については、このベースが評価対象としてだけではなく評価条件としても意味づけられる。これは「～と」という条件を表す形式によってもたらされる。

また、「～のがいい」におけるプロファイルは、排他的に行われる、すなわち、それ以外のものは評価に値しないものとして排除されるのに対し、「～といい」におけるプロファイルにはこのような排他行為は伴わない。すなわち、「～といい」は、他にも肯定的評価に値するものが存在する可能性を残している。これは、「～のがいい」に用いられている格助詞「が」がいわゆる総記(=排他)の機能を持つものに対し、接続助詞「と」はこのような機能を持たないことに起因する。

それゆえ、評価順位を表す「一番」が「いい」を修飾する(27b)では、「～のがいい」は自然であるが、「～といい」は不自然となる。また、同程度の肯定的評価に値する候補が他にも存在することをほのめかす副助詞「も」が命題中に含まれている(27c)では、「～といい」は自然であるが、「～のがいい」が不自然となる。

- (27) a. ストレスを解消したいなら、休みの日に |好きなことをして過ごすのが / 好きなことをして過ごす| いいと思うよ。
 b. ストレスを解消したいなら、休みの日に |好きなことをして過ごすのが / *好きなことをして過ごす| 一番いいと思うよ。
 c. ストレスを解消したいなら、|*睡眠の質にも気をつけるのが / 睡眠の質にも気をつける| いいと思うよ。

最後に、「～のがいい」と「～といい」を語用論的観点から比較すると、いずれも評価対象に対する肯定的評価を行うだけでなく、先に見た(18)(20)や次の(28)(29)のように間接発話行為として聞き手に対する助言を行うことができる。

- (28) あなたも商談，交渉，説得など人を動かすときや物体を動かすとき，「Nの法則」で，一度目は様子見で，しばらくおいてもう一度，本格的にプッシュするといいでしょう。(BCCWJ, PB33_00574, さとう秀徳著『画期的成果が上がった！』三笠書房, 2003)
- (29) 「和夫の好きなクリームパンだよ。食べないかい。」けれども和夫は，「あとで。」と言いながら，運動靴を突っかけて走り出しました。「きっと，また，野球のまねなんだね。ハッハッハ…。じゃ，帰ってから食べるといいよ。おなかですくと，いっそうおいしいだろうからね。」(BCCWJ, LBdn_00022, 住井すゑ著『わたしの少年少女物語』労働旬報社, 1989)
- (18) (20) の「～のがいい」は，次の (18)”，(20)”のように「～といい」に置き換え可能であり，(28) の「～といい」も (28)’のように「～のがいい」に置き換え可能である。

(18)”【質問者】

ニワトリの頭っていくら位するのでしょうか？ササミより高いのでしょうか？また，どこで購入できるのでしょうか？

【回答者】

肉問屋とか普通の肉屋さんで問い合わせるといいかと思います。

(20)”【質問者】

タイピングが上手になる良い方法があったら教えて下さいませ。。。

【回答者】

ゲームでもしながら，覚えるといいと思います。。。。

(28)’ あなたも商談，交渉，説得など人を動かすときや物体を動かすとき，「Nの法則」で，一度目は様子見で，しばらくおいてもう一度，本格的にプッシュするのがいいでしょう。

しかし，(29) の「～といい」は，次の (29)’に見るように「～のがいい」への置き換えが不可能である。

(29)’ 「和夫の好きなクリームパンだよ。食べないかい。」けれども和夫は，「あとで。」と言いながら，運動靴を突っかけて走り出しました。「きっと，また，野球のまねなんだね。ハッハッハ…。じゃ，*帰ってから食べるのがいいよ。おなかですくと，いっそうおいしいだろうからね。」

ここでの「帰ってから食べる」は，和夫が発信者の申し出を断ったことを受け，発信者が新たに提示した代案の一つにすぎず，発信者が肯定的評価に値するものとして排他的にプロファイルした評価対象とは解釈しがたい。したがって「～といい」は自然であるが「～のがいい」は不自然となる。

次の(30)の日本語学習者の作文においても、「～のがいい」がやや不自然であるのは、先行文脈で肯定的評価に値する他の例がすでにあげられており、それ以外に肯定的評価に値するものを追加的にプロファイルしていることによる。

したがって、この場合は、(30)'のように「～といい」を用いるか、(30)''のように累加の「も」を用いた「～のもいい」の方が自然である。

(30) いちばんいいのはその言語に接する興味を持つことです。これは興味を上昇し学習の繰り返しだというてんでとても望ましいです。それと？自分の学習計画をつくるのがいいです。(「日本語学習者作文コーパス」KG020)

(30)' いちばんいいのはその言語に接する興味を持つことです。これは興味を上昇し学習の繰り返しだというてんでとても望ましいです。それと自分の学習計画をつくるといいです。

(30)'' いちばんいいのはその言語に接する興味を持つことです。これは興味を上昇し学習の繰り返しだというてんでとても望ましいです。それと自分の学習計画をつくるのもいいです。

このほか、「～といい」は、(6)(7)や次の(31)のように相手に助言を求めるときにも使用できる。

(31) ダイエットをするには、何をするといいですか。

ただし、次の(32a)のように、相手に助言を求めるといよりは、むしろ相手の意向を尋ねている場合は、やや不自然となる。

(32) [家事代行サービスの人が家の主人に対して尋ねる場面]

a. ?これは、どこにしまうといいですか。

b. これは、どこにしまったらいいですか。

また、次の(33)のような二者択一的なクローズドクエスチョンに用いるとやや不自然となる。

(33) ?ダイエットをするには、食事制限をするといいですか。それとも、有酸素運動をするといいですか。

これは、「それとも」により排他的なプロファイルが求められているコンテキストにおいて、排他的行為を伴わないプロファイルを行う「～といい」が用いられていることに起因すると考えられる。

6. まとめと今後の課題

以上、本稿では、肯定的評価を表す「～のがいい」と類義表現「～方がいい」「～といい」との使い分けを、統語論的観点、意味論的観点、語用論的観点から論じてきた。ここまでの考察結果をふまえ、5節の表1を修正すると表2のようになる。

表2 「～のがいい」「～方がいい」「～といい」の特徴

		～のがいい	～方がいい	～といい
評価対象	①発信者の行為	○	○	×
	②受信者の行為	○	○	○
	③一般論としての不特定多数の行為	○	○	○
機能	④助言や勧め	○	○	○
	⑤忠告（その行為をしないと悪い結果が生じるという含み）	×	○	×
その他	⑥どうすべきか尋ねる疑問形に使える	○	○	助言を求めるオープンクエスションなら ○

また、それぞれの形式において、評価者が、肯定的評価に値するものをプロファイルする認知プロセスについて、以下のことが示された。

①「～のがいい」におけるプロファイル

評価者は、評価に際し、評価対象となりうる無数の候補からなるベースから肯定的評価に値するものを排他的にプロファイルしている。

②「～方がいい」におけるプロファイル

評価者は、評価に際し、評価対象として比較する二つの候補からなるベースから肯定的評価に値するものを排他的にプロファイルしている。

③「～といい」におけるプロファイル

評価者は、評価に際し、評価対象かつ評価条件になりうる無数の候補からなるベースから肯定的評価に値するものを一例としてプロファイルしている。

本研究を通して「～のがいい」と「～方がいい」、「～のがいい」と「～といい」の使い分けを説明するには、評価者の認知プロセスに着目することが重要であることが確認できた。日本語教育の中でこれらの形式を学習項目として取り上げたり、学習者の誤用を訂正したりする際

には、このような認知プロセスの相違をふまえた上で、コンテキストとの関わりから適切な表現を導くことが望まれる。なお、相手に助言を与える表現には、この他「～たらいい」「～ばいい」「～たらどうですか」なども存在する。これらの表現の使い分けについては今後の研究課題とする。

注

- 1 『日本国語大辞典 第二版』13巻には、「よ・い」について、「くだけた口語表現では終止形・連体形が『いい』の形を取る (p. 478)」と記されている。
- 2 ここでいう「動作命題」とは、次の (i) の下線部のように動作を表す命題を指す。本研究では、(ii) の下線部のような非動作命題は扱わない。
 - (i) 名古屋に行くなら、名古屋城に行くといい。
 - (ii) もっと給料が高いといいのだが…。
- 3 高梨 (2010) も「反対の事態に対する否定的な評価をいわば裏の意味として併せもつ点が『ほうがいい』を『といい』『ばいい』などと分け隔てる特徴だと考えられる (p. 65)」としている。

参 考 文 献

- 庵功雄他 (2000) 『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
 庵功雄他 (2001) 『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
 泉原省二 (2007) 『日本語類義表現 使い分け辞典』研究社
 グループ・ジャマシイ (1998) 『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版
 スリーエーネットワーク (2012) 『みんなの日本語初級Ⅰ 第2 版本冊』スリーエーネットワーク
 スリーエーネットワーク (2013) 『みんなの日本語初級Ⅱ 第2 版本冊』スリーエーネットワーク
 スリーエーネットワーク (2016) 『みんなの日本語初級Ⅱ 第2 版教え方の手引き』スリーエーネットワーク
 スリーエーネットワーク (2008) 『みんなの日本語中級Ⅰ 本冊』スリーエーネットワーク
 スリーエーネットワーク (2012) 『みんなの日本語中級Ⅱ 本冊』スリーエーネットワーク
 高梨信乃 (2010) 『評価のモダリティ 現代日本語における記述的研究』くろしお出版
 東京外国語大学留学生日本語センター (2010) 『初級日本語上』凡人社
 東京外国語大学留学生日本語センター (2010) 『初級日本語下』凡人社
 東京外国語大学留学生日本語センター (2015) 『中級日本語上』凡人社
 東京外国語大学留学生日本語センター (2015) 『中級日本語下』凡人社
 日本国語大辞典第二版編集委員会編 (2002) 『日本国語大辞典 第二版』第13巻 小学館

用例収集に使用したコーパス

- ・『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ) <https://ccd.ninjal.ac.jp/bccwj/>(言語資源開発センター)
- ・『学習者作文コーパス「なたね」』<https://hinoki-project.org/natane/>(ひのきプロジェクト, 代表: 仁科喜久子)
- ・『日本語学習者作文コーパス』<http://sakubun.jpn.org/>(科研グループ「自然言語処理の技術を利用したタグ付学習者作文コーパスの開発」)